日立道路再検討プロジェクト

資料－3

これまでの経過と第2回ワークショップの位置づけ

平成20年6月15日（日）

日立道路検討会 PI実施事務局

1．プロジェクトの概要とワークショップの位置づけ（確認）

（1）日立道路再検討プロジェクトとは

- 日立バイパスをはじめとした長期未着手の都市計画道路のあり方（存続、変更、廃止）を検討するプロジェクト。
- 日立道路検討会が、市民のみなさんの意見を聴きながら、概略計画の検討を進めている。

日立道路検討会とは

日立市、茨城県、国土交通省常陸河川国道事務所で構成され、
日立バイパスを主体とした主要3路線の計画検討を進めている組織

概略計画とは

道路の概ねのルート位置や構造などの基本的な事項を定める計画であり、その後のより詳細な計画検討の基本となる

（2）どの道路を検討するの？

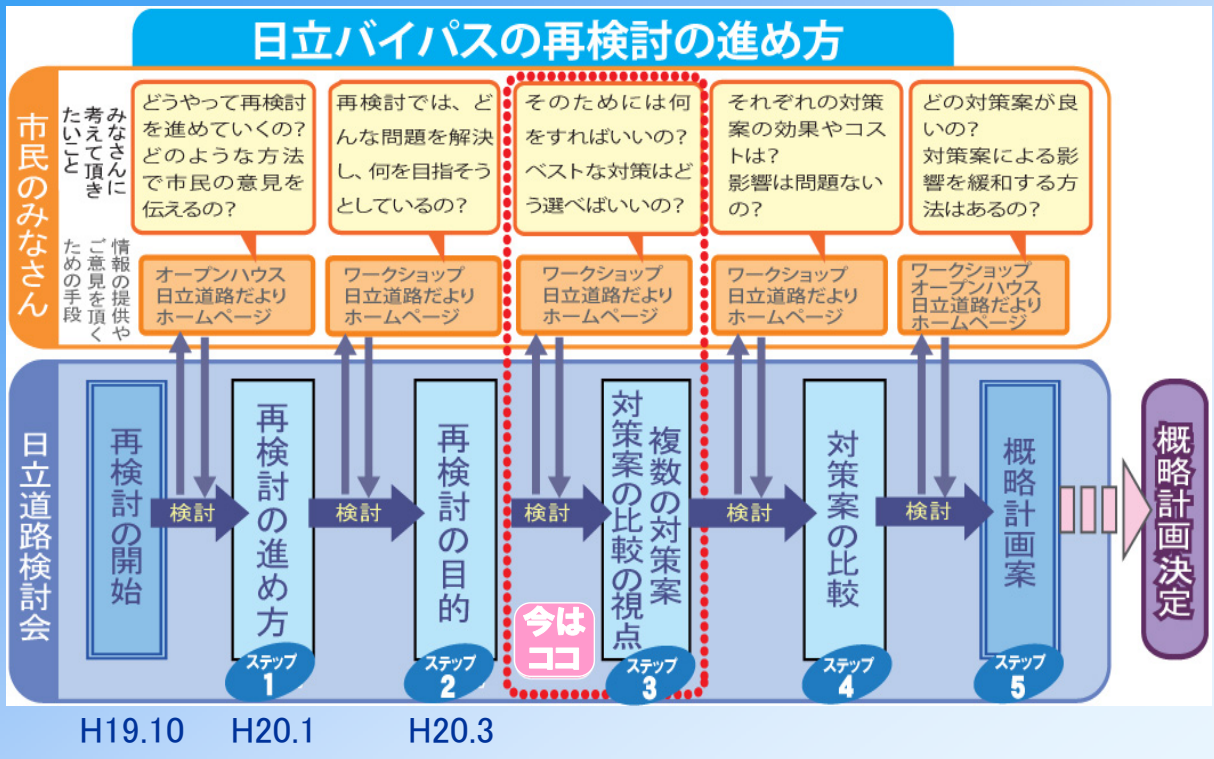
●国道6号日立バイパス
（旭町～河原子町）

●大宮雨降川線
（鹿島町、弁天町地内）

●鮎川停車場線
（国道245号より東側）

※日立道路検討会が、日立市長より「市民の意見を聴きながら検討すべき」として見直し検討の要請を受けた路線

（３）どのような進め方で検討するの？



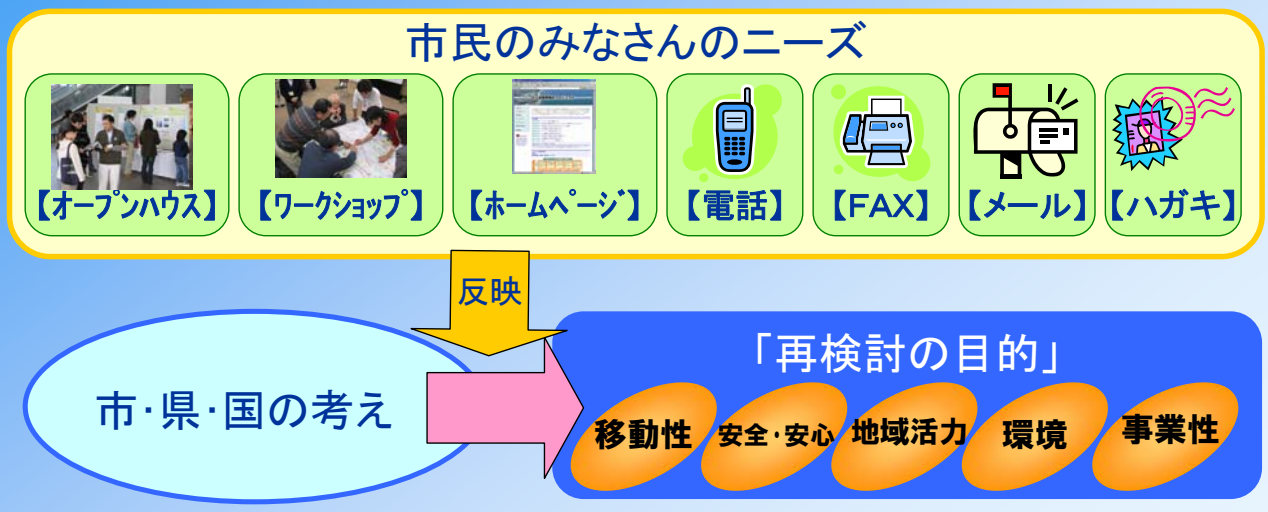
（４）日立道路再検討プロジェクトワークショップとは

- 市民のみなさんのご意見をお伺いするための方法の1つ
- 議論を通じてプロジェクトに対するニーズ、懸念、アイディアをとりまとめていく場であり、みなさんの総意を決める場ではない
- ワークショップの成果は、他の方法で収集した市民意見をあわせて整理され、ステップ毎に日立道路検討会が計画に反映していく

2. 第１回ワークショップ以降の検討内容

（１）「再検討の目的」確定までの流れ

- みなさんの多様な関心事を整理し、市･県･国の考えに加え、日立道路検討会が『再検討の目的』を確定



※オープンハウスなど ステップ1「再検討の進め方」でいただいたご意見も「再検討の目的」に反映

（2）第1回ワークショップの意見要旨

解決すべき問題

（A-1）幹線道路の渋滞を緩和してほしい
（A-2）道路の交通容量を確保してほしい
（A-3）通過交通や市内を移動する交通など、様々な交通が混在しないようにしてほしい
（A-4）生活道路が抜け道として利用されないようにしてほしい
（A-5）歩行者の安全性を確保してほしい
（A-6）沿道環境を改善してほしい

問題解決の際の配慮事項

（B-1）交通問題を早期に解決してほしい
（B-2）住環境・自然環境への影響に配慮してほしい
（B-3）歩行者の安全性に配慮してほしい
（B-4）空いている土地を有効活用してほしい
（B-5）高齢者の移動に配慮してほしい
（B-6）災害に備え、複数の移動経路を確保してほしい
（B-7）観光振興につながるようにしてほしい

その他

（C-1）問題解決のための具体的なアイディア
（C-2）検討の進め方に関する意見

※「第1回ワークショップの意見要旨」は、みなさんに事前に送付した「第1回ワークショップの記録」に記載されています。

（3）「再検討の目的」と意見要旨との対応

再検討の目的

- **移動性**：南北の幹線道路の渋滞を緩和し、市内の移動の円滑化を図る
- **安全・安心**：市民の生活の安全・安心を確保する
- **地域活力**：日立市の活力を向上させる
- **環境**：良好な自然環境と生活環境に配慮する
- **事業性**：効率的に投資し、早期に目的を達成する

市民のみなさんからいただいた意見要旨	意見表明された方※ WS	OH	他
幹線道路の渋滞を緩和してほしい（A-1）	●	●	●
日立市の交通需要に対応できるようにしてほしい（A-2）	●		
港や工場へのアクセスを向上してほしい			●
通過交通や市内を移動する交通など、様々な交通が混在しないようにしてほしい（A-3）	●	●	●
市内の様々な地域へのアクセスを向上させてほしい		●	
高齢者が円滑に移動できるようにしてほしい（B-5）	●	●	●
車が道路を安全に走行できるようにしてほしい		●	●
子供や高齢者など歩行者の安全性を確保してほしい（A-5）（B-3）	●	●	●
生活道路の安全性を確保してほしい（A-4）	●	●	●
災害時や救急時でも安全に暮らせるようにしてほしい（B-6）	●	●	●
産業の発展や地域の活力の維持・活性化が図れるようにしてほしい		●	●
日立市の観光が発展するようにしてほしい（B-7）	●	●	●
歴史、伝統、文化への影響に配慮してほしい		●	●
漁業に影響が出ないようにしてほしい		●	●
自然環境への影響に配慮してほしい（B-2）	●	●	●
生活環境への影響に配慮してほしい（A-6）（B-2）	●	●	●
交通問題を早期に解決してほしい（B-1）	●	●	
効率的に対策へ投資してほしい（B-4）	●	●	●

※WS：ワークショップ参加者　OH：オープンハウス来場者
他：電話・FAX・ハガキ・メール・ホームページなどで意見表明された方

3. これからの検討と第2回ワークショップの位置づけ

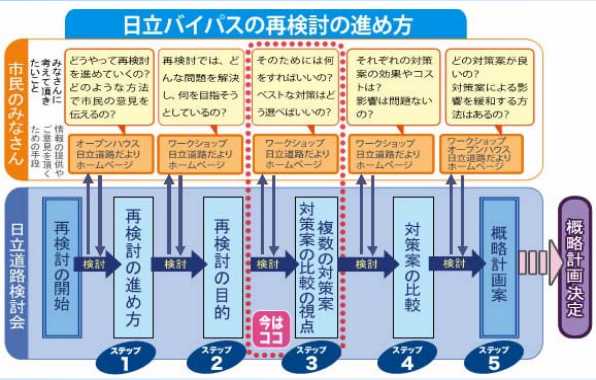
（1）これからの検討

ステップ3
「再検討の目的」を達成するためにどのような交通の対策案が考えられるか、また、それら対策案をどのような視点で評価すべきか検討

ステップ4
対策案を比較する

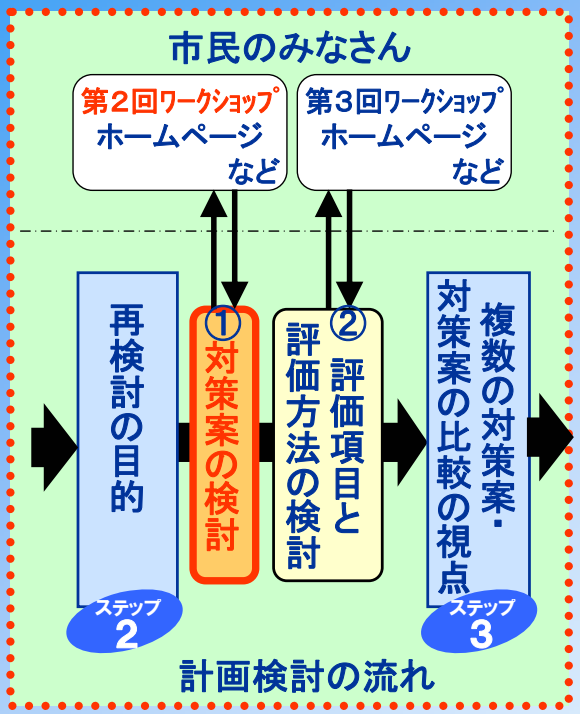
ステップ5
対策案を比較評価し、優位とされた対策案を「概略計画案」とする

※見直し検討の結果、道路の計画が廃止される場合もある



（2）第2回ワークショップの位置づけ

- 第2回ワークショップでは、「対策案」を検討

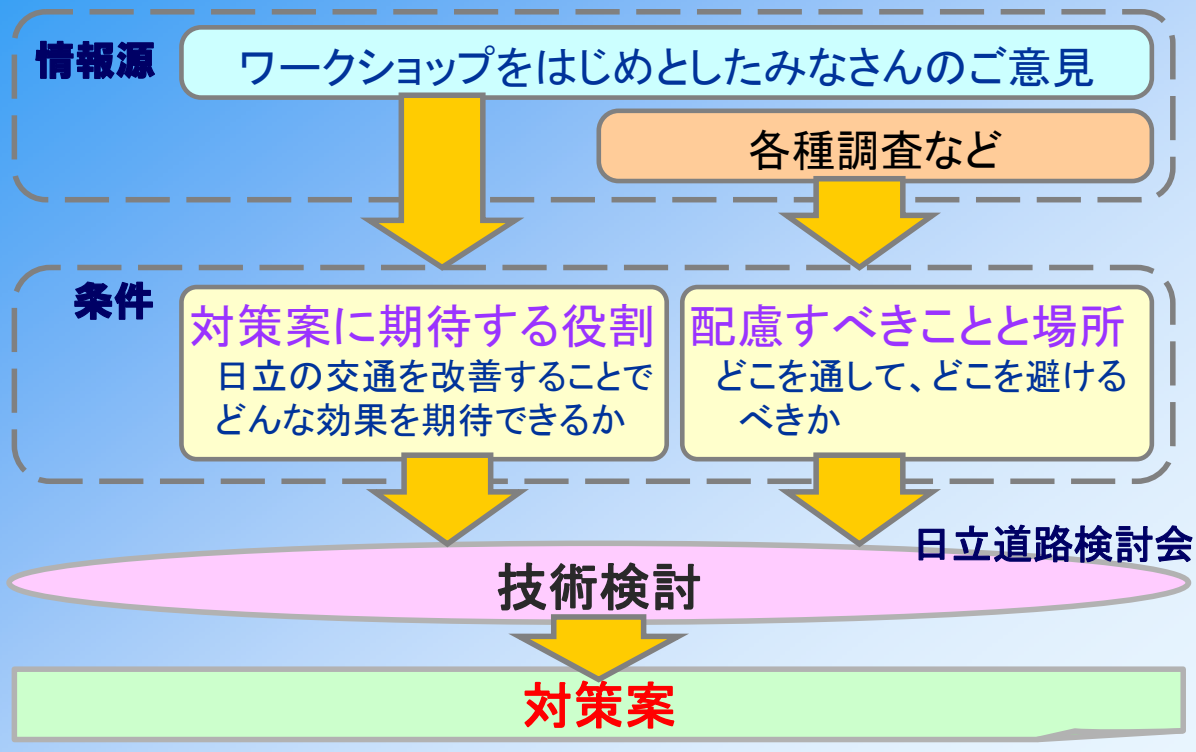


- ステップ3「複数の対策案・対策案の比較の視点」は、次の2回に分けて検討

①対策案の検討
5つの目的を達成するためにどうしたらよいか？

➡第2回ワークショップ（本日）

②評価項目と評価方法の検討
対策案をどのように評価したらよいか？

➡第3回ワークショップ

（3）「対策案」の検討とは